

MRI 造影検査問診票

氏名 _____ 様

体重 _____ kg

該当する□の中に✓を入れて下さい。

1. 造影剤（注射）を用いた検査を受けたことがありますか。 はい いいえ

2. 「1」で“はい”と答えられた方にお聞きします。

その時、副作用がありましたか。 はい いいえ

“はい”と答えられた方にお聞きします。それはどのような症状ですか。

吐き気 かゆみ じんましん 頭痛 その他（ _____ ）

3. 腎臓病と診断されたことがありますか。 はい いいえ

4. アレルギー体質・アレルギー性の病気がありますか。

薬 食物によるアレルギー アレルギー性鼻炎 なし

アトピー体質 その他（ _____ ）

5. ぜんそくと診断されたことはありますか。 あり なし

“あり”と答えられた方にお聞きします。現在は 治療中 治っている

6. 女性の方にお聞きします。

現在、妊娠の可能性はありますか。 はい いいえ

授乳中ですか。 はい いいえ

MR I 造影剤使用の説明書・同意書

詳しくMR I 検査を行う為に、ガドリニウム系造影剤というお薬を静脈注射いたします。造影剤はより正確な診断をする為に使用しますが、まれに副作用が起こることがあります。

副作用の種類と頻度

- 軽い副作用 嘔気、嘔吐、かゆみ、じんましん等ほとんど治療の必要のないものが100人に1人。
重い副作用 呼吸困難、意識障害、ショックなど治療、入院が必要なものが2万人に1人、死亡率は100万人に1人。
アレルギー体質やぜんそくのかたは上記の頻度が5～10倍になります。

血管外漏出（注射漏れ）

造影剤の注入に関しては細心の注意をもって実施していますが、まれに血管外漏出（注射漏れ）が起こり、注射部がはれて痛みを伴うことがあります。検査によっては造影剤を急速に注入する必要があり、発生確認時にはかなりの量が漏れていることもあります。通常は時間がたてば自然に吸収されますが、漏れた量によっては別に処置が必要となることもあります。

造影剤使用時のリスク要因

- ☆ これまでに造影剤を注射して副作用があった方。
- ☆ 飲み薬や注射で気分が悪くなったり、じんましんなどの症状が出たことのある方。
- ☆ アレルギー体質の方。（家族にアレルギー体質や薬で副作用があった方がおられてもリスクは上がります）
- ☆ 喘息（ぜんそく）の方。
- ☆ 腎臓の病気あるいは機能が悪い方。
- ☆ 妊娠中または妊娠の可能性のある方。
- ☆ 授乳中の方。（造影剤は母乳中に移行します。投与後24時間の授乳中断が必要）

造影剤使用中の注意

造影剤が注入されると体が熱くなる感じがすることがありますが、注入後すぐに無くなるので心配はいりません。ただし、以下の症状やその他の異常を感じた時はお知らせください。

検査時にはブザーのスイッチを渡しますので、それを押してください。

- ・吐き気 ・頭痛 ・注射の所が痛い ・息苦しい ・胸が苦しくドキドキする ・かゆい

同意書の撤回について

患者様または代理人が造影剤使用を同意した後、使用前ならいつでも同意の撤回ができます。

MR I 造影剤使用の同意書

eGFR _____ ml/min/1.73 m² (測定3ヶ月以内)

私は、造影剤の必要性と副作用について説明しました。

20 年 月 日

医師名 _____

私は、造影剤の必要性と副作用について説明を受けて理解しましたので、造影剤を使用することに同意します。

20 年 月 日

患者署名 氏名 _____

保護者または代理人署名 氏名 _____

続柄 (_____)

医療法人華頂会 琵琶湖養育院病院